

学校通信 南小がより

令和6年4月30日 (No.2)

小金井市立南小学校

TEL 042-383-1149

くじらぐも 042-385-6310



学校 HP

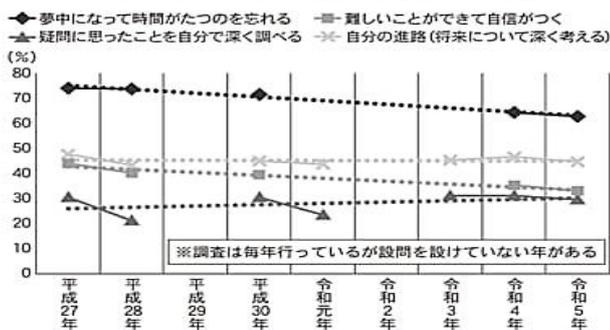
「チャレンジングな経験」を大切に

校長 檀原 延和

新緑とつつじの花のコントラストが美しい季節となりました。入学して間もない1年生も、少しずつ小学校生活に慣れ、24日からは、楽しみにしていた給食も始まりました。2年生以上も、クラスの生活が軌道にのり、クラブ活動や委員会活動も始まりました。

先日「夢中になる経験の減少続く」という新聞の記事が目にとまりました。小学校4年生から高校生までを対象に継続して行っている調査で、「夢中になって時間がたつのを忘れる」といった経験が減っているのだそうです。また「難しいことができて自信がつく」といった経験も同様の傾向だったそうです。

■「チャレンジングな経験」の経験率推移



(日本教育新聞 4/22付「東京大学社会科学研究所調査」より)

これが南小の子供たちにそのまま当てはまるとは限りませんが、調査の考察では、「チャレンジングな経験」の多い子供は、少ない子供に比べて、自己肯定感や社会への関心、学習意欲などが高く、様々な資質・能力を高める可能性があると分析しています。

さて、学校は、どうでしょう。学校には、子供にとって「やらなきゃいけない (must)」ことと、「やっちゃいけない (must not)」ことがほとんどを占めていると言われてしています。集団生活を通して学ぶ場ですから、仕方ない面はあります。しかし、この2つだけでは、「チャレンジングな経験」は、なかなか生まれません。そこで、少しでも子供の「やりたい (want to)」を増やしていくことが大切になってきます。あるいは、選択肢を用意して、選べるようにしてもよいでしょう。小さなことでも子供自身が考え判断する場面、自己決定をする経験を大切にしていきたいです。

今月は、恒例の「南小まつり」があります。4年生以上の各クラスがアイデアを出し合い、お店を出店します。自分たちが考えたお店で、南小の子供たちに楽しんでもらいたい。それは、やってみなくては分からない「チャレンジングな経験」です。しかし、これを成功させるのは、決して容易ではありません。一人一人の「やりたい (want to)」をどう調整し、折り

合いをつけるか、テーマやお店の内容、ルールや役割分担をどうするかなどを話し合っ決めてなければいけません。また、子供の「やりたい (want to)」に寄り添う先生たちの「伴走者」としても役割もとても重要です。

今後、教科等の学習活動の中でも、子供の「やりたい (want to)」あるいは、選択肢のある学習を取り入れていきたいと考えています。その一つが「単元内自由進度学習」です。耳慣れない言葉かもしれませんが、授業における「個別最適な学び」をするための学習方法の一つです。ある教科の単元の始め(ガイダンス)と終わり(まとめの時間)以外のほとんどを、子供が学び進めていく授業の進め方です。先生は、単元の構想、学習材や学習環境の準備など、これまでの授業よりも多くの準備が必要です。昨年度末、複数の学年で算数の単元内自由進度学習に取り組みました。一斉型の授業と比べ、子供の「やりたい (want to)」と選択肢の幅がひろがり、より意欲的に取り組む子供の姿が多く見られました。これは、子供にとっても先生にとっても「チャレンジングな経験」でした。今年度は、校内研究の柱の一つとして取り組んでいく予定です。

本校は、令和4年度からコミュニティ・スクールとなり、今年で3年目を迎えます。新たに学校運営協議会の委員の方々が、小金井市教育委員会より委嘱されましたのでご紹介いたします。

フリガナ	氏名	所属等
ノナカ ヒデアキ	野中 英邦 様	前原町二丁目町会 前会長
オカモト ダイサク	岡本 大作 様	前原町四丁目町会 会長
ハヤシ トオル	林 徹 様	東町五丁目町会 会長 ICU国際基督教大学非常勤講師
カメダ トシオ	亀田 俊夫 様	総合学院テクノスカレッジ学院長
ソエジマ マサカズ	副島 賢和 様	昭和大学大学院保健医療学研究所准教授
カドイ ムツミ	門井 睦美 様	民生・児童委員 小金井市社会福祉委員
タカハシ アキ	高橋 亜紀 様	放課後子ども教室担当 地域コーディネーター
タテミチ ケイスロウ	立道 泰寛 様	みなみ学童保育所 施設長
カベ ヒロユキ	加辺 博之 様	小金井市子供会育成連合会会長 令和5年「みなみの会」会長 地域コ-ディネーター
シミズ カユ	清水 果優 様	保護者代表 PTA「みなみの会」役員

5月18日(土)に、南小PTA「みなみの会」総会に続いて、「南小なりのコミュニティ・スクールを考え実践する会」を開催します。子供たちの健全育成のために、大人の「やりたい (want to)」を出し合い、実現するための対話の場です。ぜひ多くの方々にご参加していただき、子供も大人も「チャレンジングな経験」の場を増やしていきましょう。